



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年2月3日

上場会社名 株式会社テンポインベーション 上場取引所 東  
 コード番号 3484 URL https://www.tenpo-r.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原 康雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理部管掌 (氏名) 志村 洋平 TEL 03 (6274) 8733  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	7,431	22.9	665	20.6	689	30.2	481	31.6
2019年3月期第3四半期	6,046	24.0	551	86.4	529	80.0	366	94.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2020年3月期第3四半期	円 銭 27.01	円 銭 -
2019年3月期第3四半期	21.58	20.72

(注) 1 2019年12月11日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

2 2020年3月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	
2020年3月期第3四半期	9,641	2,463	2,463	2,106	25.6	
2019年3月期	8,587	2,106	2,106		24.5	

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 2,463百万円 2019年3月期 2,106百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年3月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 14.00	円 銭 14.00
2020年3月期	-	0.00	-	-	-
2020年3月期 (予想)	-	-	-	9.00	9.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有  
 配当予想の修正については、本日(2020年2月3日)公表の「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2 当社は、2019年12月11日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2019年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

### 3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,017	21.7	801	9.2	802	12.3	545	7.0	30.60

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2 2019年12月11日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2020年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	17,824,400株	2019年3月期	17,824,400株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	514株	2019年3月期	470株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	17,823,904株	2019年3月期3Q	16,958,575株

(注) 当社は、2019年12月11日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第3四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	5
(セグメント情報) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、10月に実施された消費税率引き上げによる影響もみられるなか、良好な雇用や所得の増加を背景に、緩やかな回復基調が続いております。先行きについては、通商問題の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引き上げ後の消費者マインドの動向も注視する必要があり、依然として不透明な状況にあります。

当社を取り巻く環境について、外食業界では今秋の連休を直撃した台風や消費増税の対応による影響等により、売上高が一時的に前年を下回ったものの、その後は持ち直している状況にあります。また不動産市況については、当社が事業展開している東京主要エリアにおける商業不動産賃料は高止まりで安定的に推移しており、引き続き好調を維持しております。

このような環境のなかで、当社においては、事業規模の拡大に対応するべく、人材獲得の強化並びに新規採用人員への教育による早期戦力化に取り組むと共に、営業部マネージャー職の増員及びマネジメント能力強化を目的とした管理者研修プログラムの実施等により、営業体制の強化に取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高7,431,820千円(前年同四半期比22.9%増)、営業利益665,505千円(同20.6%増)、経常利益689,096千円(同30.2%増)、四半期純利益481,580千円(同31.6%増)となりました。

なお、第2四半期会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、当第3四半期累計期間の比較・分析は変更後の区分に基づいて記載しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## ①店舗転貸借事業

店舗転貸借事業においては、当第3四半期累計期間における新規契約件数及び後継付け件数(閉店した店舗に対し新規出店者と転貸借契約を締結したもの)の転貸借契約件数の合計は292件(前年同四半期比12.3%増)となりました。また、当第3四半期会計期間末における転貸借物件数は前事業年度末より175件純増し、合計1,634件となりました。一方、本社オフィスの拡張や人件費の増加により、販売費及び一般管理費は前年同四半期と比較して増加しました。この結果、店舗転貸借事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高6,896,757千円(前年同四半期比15.5%増)、セグメント利益451,413千円(同16.7%減)となりました。

## ②不動産売買事業

不動産売買事業では、店舗転貸借事業を更に推進する為に、不動産業者とのリレーションシップ強化を目的として、店舗不動産の仕入販売や建築販売に取り組んでおります。当第3四半期累計期間においては4物件を取得し、4物件を売却しました。また、当第3四半期会計期間末における保有物件数は4件となりました。この結果、不動産売買事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高535,063千円(前年同四半期77,681千円)、セグメント利益214,092千円(同9,549千円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べて1,054,191千円増加し、9,641,225千円となりました。これは主に差入保証金が583,839千円、現金及び預金が289,082千円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べて697,415千円増加し、7,177,814千円となりました。これは主に預り保証金が664,728千円増加したことによるものであります。

## (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べて356,776千円増加し、2,463,411千円となりました。これは主に利益剰余金が356,812千円増加したことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想については、「2019年3月期 決算短信」(2019年5月9日公表)で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,862,368	2,151,450
販売用不動産	533,772	364,641
仕掛販売用不動産	105,633	299,623
前払費用	748,924	846,149
その他	99,907	98,064
流動資産合計	3,350,607	3,759,929
固定資産		
有形固定資産	302,804	318,925
無形固定資産	16,364	37,774
投資その他の資産		
差入保証金	4,503,013	5,086,852
その他	414,244	437,742
投資その他の資産合計	4,917,257	5,524,595
固定資産合計	5,236,426	5,881,295
資産合計	8,587,033	9,641,225
<b>負債の部</b>		
流動負債		
前受収益	894,116	1,025,463
賞与引当金	36,997	58,312
その他	561,941	411,205
流動負債合計	1,493,054	1,494,982
固定負債		
預り保証金	4,750,319	5,415,047
その他	237,024	267,784
固定負債合計	4,987,343	5,682,831
負債合計	6,480,398	7,177,814
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	308,394	308,394
資本剰余金	539,930	539,930
利益剰余金	1,258,655	1,615,468
自己株式	△345	△382
株主資本合計	2,106,634	2,463,411
純資産合計	2,106,634	2,463,411
負債純資産合計	8,587,033	9,641,225

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	6,046,720	7,431,820
売上原価	4,890,876	5,945,101
売上総利益	1,155,844	1,486,718
販売費及び一般管理費	604,147	821,213
営業利益	551,697	665,505
営業外収益		
違約金収入	12,652	25,098
その他	696	4,955
営業外収益合計	13,348	30,053
営業外費用		
支払補償費	949	6,463
上場関連費用	34,752	-
営業外費用合計	35,702	6,463
経常利益	529,343	689,096
特別利益		
固定資産売却益	-	6,304
特別利益合計	-	6,304
税引前四半期純利益	529,343	695,400
法人税等	163,330	213,820
四半期純利益	366,013	481,580

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する事項

(単位:千円)

	報告セグメント		計	四半期損益計算書 計上額
	店舗転貸借事業	不動産売買事業		
売上高				
外部顧客への売上高	5,969,038	77,681	6,046,720	6,046,720
計	5,969,038	77,681	6,046,720	6,046,720
セグメント利益	542,148	9,549	551,697	551,697

II 当第3四半期累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する事項

(単位:千円)

	報告セグメント		計	四半期損益計算書 計上額
	店舗転貸借事業	不動産売買事業		
売上高				
外部顧客への売上高	6,896,757	535,063	7,431,820	7,431,820
計	6,896,757	535,063	7,431,820	7,431,820
セグメント利益	451,413	214,092	665,505	665,505

2. 報告セグメントの変更に関する事項

当社は、「店舗転貸借事業」と「不動産売買事業」を営んでおりますが、全セグメントに占める「不動産売買事業」の割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しておりました。

第2四半期会計期間より、「不動産売買事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報は、当第3四半期累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。